

# 令和元年度 ゆうかり学園 事業報告 (案)

## 1. 事業報告

### 1) 施設入所支援

昨年度2月に入所定員を40名としたが、当初3か月間は定員超過による減算が生じた。長期入院されていた利用者がお亡くなりになった。医療支援について、看護師の拡充により整いつつあるが、快適な暮らしの場の提供においては、ハード面での限界がみえている。

### 2) 生活介護

期首68名

ハード面での対応が厳しい状況で、同法人のばすてる他法人の生活介護事業を活用することにより、該当利用者には気分転換を図ってもらいつつ職員の負担軽減にもつながっている。個々の職員の介護技術（介護福祉士資格取得）の習得が利用者の安心で安定した生活には欠かせないことから、今後も引き続き技術向上に努める。

### 3) 就労移行支援

就職に結びつくケースはなかった。事業としては必要不可欠と考えるが、人員配置の状況を勘案し事業休止とすることとした。

### 4) 就労継続A型

期首6名。ぽおくしょっぷ游花里での餃子作りが主な仕事となっている。一所懸命に働いているが、工賃のアップに結び付けられない状況が続いている。

### 5) 就労継続B型

期首37名。期末39名である。これまで就労系の日中活動はゆうかり学園では多くの作業種目があり、利用者の方の能力に応じた作業班に所属しており、その中でも中心的な日中活動としては畜産、園芸、であったが、生活介護でも述べた通り、高齢化による機能低下から無理ができない方が増えてきている。高齢化に向け配慮が必要な状況である。

## 日中活動報告

### 1) 園芸(蔬菜)

安心安全でおいしい野菜を提供することを目標に掲げて、減農薬での野菜作りから可能な限り無農薬での野菜作りを念頭に置きながら活動に取り組んできた。利用者の皆さんにもその野菜作りに参加してもらいと充実した活動ができた。現在は主に餃子の具材としてタマネギ、白ネギ、キャベツを中心にして栽培しているが、その他にも季節の野菜づくりにも取り組んでいるところである。

### 2) 園芸(花卉・果樹)

園内の花壇の美化は勿論、ゴルフ場、皆与志療護園などの花壇の管理をおこなって来た。施設外での活動で利用者の皆さんも楽しく参加してもらっている

果樹では、ミカン、ブルーベリーの栽培と、加工品（ジュース、ジャム）も例年通り取り組んだ。

また、ゆうかり保育園の園児たちの芋ほり、ミカン狩り、ブルーベリー狩りの場として今年も利用してもらい、楽しんでもらうことが出来た。

### 3) 畜産

かごしま黒豚の生産から加工販売まで一貫した畜産活動に取り組んできた。品質の高い肉の生産のため工夫した餌を与えるなど、肥育の充実を目指している。

また、黒牛の方は、全国的にかごしま黒牛の評価が高いことから、競り値も高値が続いている。これも毎日の管理を積極的に行ってくれる畜産部の利用者の皆さんのがんばりのおかげである。

### 4) 工芸（木工・竹工）

屋久杉の材料確保が難しいことから少人数での活動が続いている。今年度も屋久杉の小物を主に製作した。卒業・卒団記念のマスコットボールも例年通りの注文に応えることができた。門松の製作は例年通り職員を中心に活動した。

竹工については、庭ほうきの材料の確保が課題になる中で、注文にようやく応じることが出来た。また、利用者の方で工程が出来る方が高齢になり、作業能力の低下が見られるようになってきている。

### 5) 紙工箱折り

めぐい、スプラウトシール貼りの注文を受けての活動が日々続いている。

お盆シーズンや正月前などの繁忙期には、他の活動班からの応援を貰いながら対応出来た。利用者の皆さんはそれぞれ一生懸命に作業されている。また毎週木曜日の手芸にもまじめに取り組まれていて充実した活動であった。新規で、国体のお土産のためのお茶のラベル貼りの依頼がある。

### 6) そうさく

健康の維持、管理に気をつけなければならない方も多く、まずバイタルチェックを毎朝、夕に必ず行い活動に入る。リサイクル活動では空きかん、ペットボトルの分別、圧縮作業、リサイクル活動のないときは散歩やレクリエーションを企画して活動している。今後もこれまでの活動の他に、利用者の皆さんが楽しめる活動を事前に企画して実行したい。

### 7) 生活介護

対象者が高齢や重度の障害のある方であることから、毎日の健康状態には気を配りながら、健康体操や、歩行散歩、レクリエーションなどを中心にした活動で今後も健康維持を第一に考えた支援をする。

### 8) ぼおくしょっぷ游花里

利用者の皆さんがそれぞれの持ち場で頑張っている。餃子作りの技術も向上しているようであるこれにより、ぼおくしょっぷの安定した生産活動が続いているようである。仕事も慣れてきたところで課題になっているお盆、正月の繁忙期のストック作りをみんなでクリア出来るようにしたい。

## 2. 職場実習及び施設外実習

ニッセイ鹿児島、ゆうかり保育園、久保水耕園へ職場実習として受け入れをしていただいた。ユニットを組み職場へ通勤するなどの取り組みを行ってきた。金銭管理や余暇の過ごし方の課題であるので今後の支援が重要になってくる。

### 3. 令和元年度 活動報告

#### ① 行事・研修会関係

月/日	行事	参加人数
4/8	ふれあいスポーツ広場	13
4/14	ふれあいバザー	
4/27	施設親善球技大会	29
5/12	県障害者スポーツ大会	9
5/19	県障害者スポーツ大会	5
5/19	農林祭	11
5/29	市施設連絡協議会	
6/16	鹿児島地区知的障害施設職員球技大会	6
6/21	施設文化祭りハーサル	8
6/22	施設文化祭出演	34
6/23	金光教ボランティア来園	
7/11	南政美さん葬儀 (7/10 逝去)	
7/24-25	MBC 夏まつり ぽおくしょっぷ出店	
7/31	警察学校ふれあい体験 41名	
8/9	家族会役員会・総会	
8/11	濱島栄良さん葬儀 (8/10 逝去)	
8/28	司法修習生受け入れ 4名	
8/31	フライングディスク大会	4
9/6	利用者レントゲン検査	
9/7	明桜館高校体育祭	9
9/7	銀河ロード祭り ぽおくしょっぷ出店	
9/17	元気会	
9/22	鹿児島市ふれあいスポーツ大会⇒台風のため中止	
10/4	警察学校ふれあい体験 43名	
10/9	第二回屋内グランドゴルフ交流会	7
10/14	スポーツプラザ	7
10/22-24	福祉協会全国大会	
10/29	平川イツエさん葬儀 (10/27 逝去)	
11/3	おはら祭り	
11/11	インフルエンザ予防接種	
11/21	利用者忘年会	
11/23	旭福祉センターバザー	
11/23	ゆうあい駅伝	
12/8	大相撲鹿児島場所観戦	
12/18	もちつき	
12/19	内部監査	

1/26	鹿児島市少年合唱隊来園	
2/3	警察学校ふれあい体験 13名	
2/9	原発事故机上避難訓練	

②各種研修会

月/日	各種研修会	参加人数
5/30-31	新任職員研修	2
9/2-3	強度行動障害従事者養成研修 基礎	2
9/23-24	強度行動障害従事者養成研修 実践	2
10/29-12/17	サビ管更新研修	9
1/8-9	虐待防止研修	2
1/12	又村あおい氏 法人内研修	4
2/7-9	アメニティーフォーラム	2
2/19-21	現任研修	3
2/26-27	サビ管研修	1

③研修生等の受け入れ状況

期間	男性	女性	所属	趣旨	備考
5/20～5/24		5	医療福祉専門学校	歯科衛生実習	通勤
6/3～6/14	1		鹿児島国際大学	保育実習	通勤
6/11～6/21		5	医療福祉専門学校	歯科衛生実習	通勤
7/11	2	2	医療福祉専門学校	介護福祉科一日実習	通勤
8/28	2	2	司法修士生	一日実習	通勤
9/9～9/13		5	医療福祉専門学校	歯科衛生実習	通勤
9/17～9/30		1	鹿児島女子短期大学	保育実習	宿泊
10/7～10/11		6	医療福祉専門学校	歯科衛生実習	通勤
10/15～10/31	1		宮崎福祉医療カレッジ	相談援助技術実習	通勤
11/11～11/15		7	医療福祉専門学校	歯科衛生実習	通勤
11/15～11/29	1		宮崎福祉医療カレッジ	相談援助技術実習	通勤
2/24～3/4		2	香蘭女子短期大学	保育実習	宿泊
3/2～3/13		4	鹿児島純心短期大学	保育実習	宿泊
3/16～3/25		2	香蘭女子短期大学	保育実習	宿泊
計	7	41			
	1		家裁少年	短期補導委託	学園/拠点宿泊
計	1	0			
5/14～16	1	1	吉野中学校	職場体験学習	通所
計	1	1			

担当：松山 大辻 仙田 原口 大平 高山 中原い

【令和元年度の反省と課題】

- ・年間を通して多くの研修生・実習生が来園した。どうしても指示待ちになってしまうため、職員には指示出しをお願いしたい。係としては、より利用者のことを知ってもらい良い研修になるよう、疑問・質問を引き出す努力をする必要があると感じている。
- ・係が誰もが出来るオリエンテーションや受け入れを目指したが、伝え忘れがあった為、もっとわかりやすいオリエンテーション内容を検討していく。職員から、実習生のあいさつや社会人としてのマナーが出来ていない部分があると指摘を受けた。オリエンテーション含めしっかり話をして行きたい。
- ・2月の実習ではコロナウイルスの関係で法人内他事業所見学等は入っていない。また、今年度は保育園実習に行かれる利用者がいないため、保育園見学に入っていない。今後利用者の保育園実習が再開した場合は入れていく予定。
- ・短期補導受け入れについて大きなトラブルもなく無事に補導期間を終えることができた。
- ・今年度養護学校生実習はなかった。

④短期入所利用状況

月	利用人数	利用日数	月	利用人数	利用日数
4月	3	39	10月	4	69
5月	5	45	11月	2	38
6月	2	34	12月	2	34
7月	2	35	1月	1	27
8月	3	40	2月	2	33
9月	5	47	3月	2	34

【令和元年度の反省と課題】

- ・所持品管理を徹底することによって、紛失を防ぐことが出来た。
- ・長期利用者（市外在住）への今後の対応について、ご家族、各種機関と連携しながら方策を示していく必要がある。

※11月7日（木）

指導監査（文書2件 口頭3件）

実地指導（文書7件 口頭2件）

0

0

1. 事業報告

1) たんぽぽ (5/5)

末期癌のため闘病生活を送られていた方が逝去。新たに高齢利用者に入居いただいている。ハイバックの車いすにて座位保持の方が1名。他事業所の生活介護を週に2回利用。夜勤者を配置し、きめ細かな支援を継続中。

2) もくれん (5/5)

たんぽぽ利用者に比べて、比較的自立度の高い方々であるが、引き続き見守り体制を維持。

3) さざんか (6/6)

夜間の巡回回数を増やすなど、他の利用者への暴言が酷い方に対する声掛けと見守りを継続中。

4) わかたけ荘 (4/4)

1名の入居の方がアパート暮らしを実現。

5) きんもくせい (6/6)

職員不在時の癲癇の発症などの可能性があるため、今後の夜間支援体制について要検討。

6) あじさい (4/5)

認知傾向のみられる利用者への対応困難事例、癲癇発作による怪我の発生等、医療面との連携をしつつ見守り体制を強めている。

7) びおら (2/4)

若い利用者で、居室の掃除等、世話人とのコミュニケーションが難しいことが多いが、担当職員を交えて支援継続。

8) まるおか (4/4)

女性利用者との性的関係をもつ等、異性との交遊について支援内容を検討中。

9) すずらん荘 (5/7)

入所からの新規移行者を含め、対人関係でのトラブルも絶えないが、庭先の畑をメンバーで手入れする等、楽しく生活している。

10) コスモス (4/4)

健康面での不調の訴えがあるが、都度対応中。

11) 第二わかたけ (5/6)

他事業所へ通う利用者が世話人、担当職員へは伝えずに、通所先にて体調不良の訴えがあったり、と対応方法の工夫が必要とされる。

12) わかば (4/4)

健康面での不調の訴えがあるが、都度対応中。

13) ひまわり (4/4)

日中活動への参加が困難な利用者への見守り支援継続中。

14) さくら荘 (5/5)

乳癌による乳房切除後、現実を受け止められず、精神科へ長期入院し

ている利用者への、段階的な社会復帰を検討中。

15)あおい (4/5)

賃借物件であったため、修繕等の依頼に対して折り合いがつかず、入居者を他の GH へ引っ越ししていただき、閉鎖。

※令和2年5月現在、岡之原エリア GH 数 14 か所

総定員数 70 空床 5



## 令和元年度 地域生活支援拠点ゆうかり 事業報告 (案)

### 【1】運営の基本方針 各事業共通

《事業名》

『生活介護』 『共同生活援助・短期入所』

『一般相談支援、特定相談支援、児童（障害児）相談支援』

『居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援等』

『鹿児島市障害者地域生活支援拠点事業（安心コールセンター機能）』

地域で暮らす一歩を安心して踏み出すための拠点として、障害のある方々が住み慣れた街で心から安心して暮らすことできる地域づくりを推進します。それが当たり前になる未来を目指して、様々な支援を切れ目なく、不安なく提供できる仕組みづくりを進め、障害のある人もない人も共に歩んで行く場所を目指します。

### 【2】令和元年度の概要

◎拠点事業全体

令和2年3月31日現在

事業	定員	期末	現員
共同生活援助 (くろーぱー)	6名	6名	6名
共同生活援助 (すみれ)	6名	6名	6名
共同生活援助 (くるみ)	6名	6名	6名
短期入所 (あすてっぷ)	4名 ※内1床は空床補償	108名 契約者数	111名 契約者数
生活介護 (ぱすてる)	20名	26名 契約者数	28名 契約者数
特定相談 (あとリエ)	—	197名 契約者数	199名 契約者数
児童相談 (あとリエ)	—	30名 契約者数	31名 契約者数
居宅等 (となりびと)	—	14名 契約者数	12名 契約者数

### 【3】各事業報告

○生活介護 ぱすてる 定員20名

1) 事業報告 担当職員：山口

生活介護は、20名定員で平成29年10月に事業開始。年度当初は契約者数23名でスタートした。令和2年3月31日現在で、27名の契約者を得ることが出来た。1日の利用平均も15名以上となってきた。新規利用者が増えた一方で、利用頻度が減った利用者がみられたため、稼働率の伸びは想定より小さくなった。

月案・週案・一日のスケジュールを確認してもらい、楽しみを感じて通所して頂けるように支援している。年度末より、コロナウィルス感染拡大防止の影響を受け、活動内容や場所に気を配っている。

食に関わる活動では、都市農業センターの市民農園を借りて育てた野菜類を昼食の材料やおやつ作りの材料として活用した。また、栄養バランスのとれた食事提供のため、他法人の就労事業所が提供する食材を使用した食事提供体制を整備した。食事提供加算の取得によって、利用される方の食事費用の負担軽減が図れている。

平成31年1月からはコーヒー・餃子販売を始めている。販売のスタイルが整い定着するまでしばらくかかる様子がある。少しでも販売する楽しさを感じてもらい意欲的に取り組める活動となるように支援内容を工夫していく。

利用人数が増えるにつれ、個別の対応が必要になっているため、活動内容（活動の中身やプログラムの組み方等）及び送迎体制を含めた工夫と検討が必要となっている。利便性の高い立地を活かした様々な地域活動や新しい建物を活かした創作・生産活動や地域交流活動等を展開していきたい。

#### 2) 利用状況

令和元（2019）年度 生活介護事業（ぱすてる） 事業報告（利用者数・稼働率等）							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数×20(定員)	420	440	400	420	360	380	
開所日数	21	22	20	21	18	19	
利用者延べ数(名)	274	269	266	285	243	255	
平均実利用者数	13.0	12.2	13.3	13.6	13.5	13.4	
稼働率	65.2%	61.1%	66.5%	67.9%	67.5%	67.1%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
開所日数×20(定員)	420	400	400	380	360	420	4800
開所日数	21	20	20	19	18	21	240
利用者延べ数(名)	280	278	300	294	292	332	3368
平均実利用者数	13.3	13.9	15.0	15.5	16.2	15.8	14.1
稼働率	66.7%	69.5%	75.0%	77.4%	81.1%	79.0%	70.34%

3) 実習生受け入れ状況 (男性3名+女性4名=7名受入 ※)

期間	男性	女性	所属	趣旨
R1年 6/3 ~R1年 6/14		1 高2	県立鹿児島養護	産業現場等における実習
R1年 6/17 ~R1年 6/28	1 高2		武岡台養護学校	産業現場等における実習
R1年 6/27		1 中3	武岡台養護学校	中学部職場体験実習
R1年 10/7 ~R1年 10/11		1 高2	県立鹿児島養護	産業現場等における実習
R1年 10/16 ~R1年 10/18	1 高3		県立鹿児島養護	産業現場等における実習
R1年 10/21 ~R1年 10/25		1 高3	県立鹿児島養護	産業現場等における実習
R2年 2/25 ~R2年 2/26	1 高3		県立牧之原養護	産業現場等における特別実習

※ 実習生で令和2年度の利用につながった人数 2名 (男女各1名)

4) 短期補導委託受け入れ状況

期間	男性	女性	所属	趣旨
R1年 5/20 ~R1年 5/24	1 16歳		家庭裁判所	社会奉仕活動
R1年 6/24 ~R1年 6/28	1 17歳		家庭裁判所	社会奉仕活動

○共同生活援助 地域生活支援拠点ゆうかり (くろーばー・すみれ・くるみ)

定員：6名×3ホーム=18名

1) 事業報告 担当職員：沖崎

令和元年度の期首は定員18名に対して現員14名でのスタートとなった。男性GHを満床にすることが最大の目標となっていた。年度初めに1名退去した方がいたものの、年間通して段階的に入居者が増えていき、令和2年2月についに全フロア満床【各ホーム定員：くろーばー6名、すみれ6名、くるみ6名 (合計定員：18名)】となった。

長期入院となっていた男性利用者1名が同年2月末で退去となったが、翌3月



に1名の入居があり、すぐに満床に戻っている。順次、新規利用者を獲得しながら、早期に満床に戻して維持していくことが次年度以降の継続目標となっている。また空き状況のタイミングによっては、共同生活援助（体験）の支給決定による短期的な体験利用パターンも積極的に受入していきたい。

## 2) 利用状況

令和元（2019）年度 共同生活援助（地域生活支援拠点ゆうかり） 事業報告（利用者数・稼働率等）							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数 （利用人数）	14	14	14	14	14	14	
開所日数	30	31	30	31	31	30	
定員（18） ×開所日数	540	558	540	558	558	540	
利用日数	379	366	327	357	336	343	
稼働率	70.2%	65.6%	60.6%	64.0%	60.2%	63.5%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
件数 （利用人数）	16	17	17	17	18	18	187
開所日数	31	30	31	31	29	31	366
定員（18） ×開所日数	558	540	558	558	522	558	6588
利用日数	407	439	430	418	444	484	4730
稼働率	72.9%	81.3%	77.1%	74.9%	85.1%	86.7%	71.8%

○短期入所 あすてっぷ 定員4名（内1床は緊急一時保護用に空床補償）

### 1) 事業報告 担当職員：沖崎

平成30年12月の定員変更に伴い、受入フロアが2階から3階すみれ及び4階くろーばーへ変更となったことで、受入がスムーズになった。

一人親家庭で、キーパーソン（親）の緊急時ということでロングステイになる方の受入が増えてきた。（入退院の状況により繰り返し利用しているケースもある。

利用ニーズの比較的低い平日に、定期的な利用を増やすために、将来の自立した生活に向けた体験的な利用の具体的な提案を呼びかけて、稼働率アップに努めた。また、受入に関するルール設定を明確化して、必要な業務の整理や簡素化を図った。業務負担は軽減された反面、苦情相談につながるケースも出て来たため、バランスを図りながら支援の質を保っていく。受入業務が負担となり、消極的にならぬよう、今後も準備と創意工夫を重ねていきたい。



## 2) 利用状況

令和元(2019)年度 短期入所(あすてっぷ) 事業報告(利用者数・稼働率等)							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数 ×定員	120	124	120	124	124	120	
開所日数	30	31	30	31	31	30	
利用日数	37	40	57	57	87	104	
平均 利用人数	1.23	1.29	1.90	1.84	2.81	3.47	
稼働率	30.8%	32.3%	47.5%	46.0%	70.2%	86.7%	
							年間 合計or平均
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
開所日数 ×定員	124	120	124	124	116	124	1464
開所日数	31	30	31	31	29	31	366
利用日数	97	88	83	65	92	60	867
平均 利用人数	3.13	2.93	2.68	2.10	3.17	1.94	2.37
稼働率	78.2%	73.3%	66.9%	52.4%	79.3%	48.4%	59.3%

### ○一般相談支援、特定相談支援、児童相談支援 あとりえ

#### 1) 事業報告 担当職員：塩満、福留

鹿児島市在住の障害児(者)および保護者等からの相談支援、電話相談、訪問相談、関係機関との連携などを行ってきた。

令和元年度は、専従2名の相談支援体制にて、計画作成や電話相談、訪問相談、同行相談、来所による相談等を実施してきた。内容としては計画作成依頼、福祉サービスの利用についての相談、本人の不安の解消、情緒安定に関する支援が多かった。

地域生活支援拠点事業で対応した緊急一時保護対象者の計画作成を担当になるケースもあった。次年度は相談体制をより強化していきたい。

法改正の関連で標準モニタリング回数が増え、事務業務も煩雑となり、個別な対応に時間が割けない状況もあった。加えて、地域生活支援拠点での緊急対応等が重なると、本来業務である基本相談や計画相談が困難になることもあった。一人で抱え込んでの対応にならぬように、事業所間での連携と地域の関係機関との協働を図りたい。

## 2) 利用状況

## 指定特定相談支援・児童相談支援 実績集計(平成31年4月～令和2年3月)

		H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	件数
全体	サ等計画	11	12	7	12	10	15	7	13	11	12	13	10	133
	サ計・モニ	21	13	40	27	31	32	24	22	30	31	37	35	343
	児支計画	9	0	2	2	4	0	4	3	2	1	3	1	31
	児計・モニ	2	6	1	4	1	5	0	4	1	4	0	4	32
													全総件数	539

(注) 「サ等計画」「サ計」…『サービス等利用計画』 「モニ」…『モニタリング』  
「児支計画」「児計」…『児童支援利用計画』

令和元(2019)年度	利用者(前年度比)
特定相談	197(+11)名
児童相談	30(-6)名
合計	227(+5)名

※令和2年3月末時点の利用者数(初回の計画請求まで至った利用者総数)

### ○在宅支援サービス(居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援)

となりびと

#### 1) 事業報告 担当職員: 鳥丸

鹿児島市在住の障害児(者)の在宅生活の支援を目的に、居宅介護(身体介護・通院等介助)、重度訪問介護、行動援護、移動支援等の事業を実施した。

令和元年度の居宅介護等サービスは、契約者14名、459件の利用となった。支援体制の充実に関しては、記録の整備、計画的な研修の実施、会議の定期的開催、文書等による指示及びサービス提供後の報告、熟練した居宅介護従事者の同行による研修等を実施してきた。より良い支援を行う為、高い目標を定めていく必要がある。

人材確保と育成も進めながら、登録ヘルパーの雇入や活用等、今後の展開を模索している。まずは地盤となる拠点内の基本事業の稼働率向上を図りつつ、連動しながら新たな体制づくりを目指していく。

地域連携に関しては、バックアップ拠点(地域生活支援拠点ゆうかり)内にある事業所として広い視野を持ち、体制を整えていく必要がある。

#### 2) 利用状況



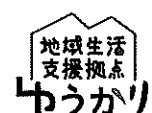
令和元(2019)年度 となりびと 居宅介護等 実績								
サービス名		H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	
居宅介護 (身体介護)	件数	33	35	34	33	30	14	
居宅介護 (家事援助)	件数	3	3	3	13	3	0.5	
居宅介護 (通院等介助 身体介護有)	件数	0	0	0	0	0	0	
居宅介護 (通院等介助 身体介護無)	件数	0	0	0	0	0	0	
居宅介護 (通院等乗降 介助)	件数	0	0	0	0	0	0	
重度訪問介護	件数	0	0	0	0	0	0	
行動援護	件数	10	12	9.5	15	20	8	
移動支援 (身体介護 有)	件数	8	0	0	0	0	0	
移動支援 (身体介護 無)	件数	0	0	1	0	0	1	
サービス名		R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	合計
居宅介護 (身体介護)	件数	13	11	9.5	11	12	14	249.5
居宅介護 (家事援助)	件数	0	0	0	0	0	0	25.5
居宅介護 (通院等介助 身体介護有)	件数	0	0	0	0	0	0	0
居宅介護 (通院等介助 身体介護無)	件数	0	0	0	0	0	0	0
居宅介護 (通院等乗降 介助)	件数	0	0	0	0	0	0	0
重度訪問介護	件数	0	0	0	0	0	0	0
行動援護	件数	4	8.5	8	12	10	6	123
移動支援 (身体介護 有)	件数	5	9	10	10	9	7	58
移動支援 (身体介護 無)	件数	0	0	1	0	0	0	3
R1年度合計								459

○鹿児島市障害者地域生活支援拠点事業（安心コールセンター）

1) 事業報告

24時間365日、緊急時の対応や体験の場の提供等のコーディネート業務を行ってきた。3年目を迎え、地域ネットワークも構築されつつあるが、困難事例を通して課題も多くなっている。鹿児島市行政及び基幹センターが開所していない時間帯の対応力が肝になっているため、法人内外の協力を経ながら体制を整えていく。

2) 利用状況 ※障害者地域生活支援拠点実績報告書 次頁参照



障害者地域生活支援拠点実績報告書(平成31年4月～令和2年3月分)			
1. 地域生活支援拠点 相談件数			(単位:件)
(a)相談件数			
(d)全体		247	
(e)dのうち時間外		90	
2. 相談内容の内訳			(単位:件)
①家族等看護(介助)者の疾病等による急な不在	②身体機能・行動上の制約から自宅等での生活が困難となった場合	③知的障害における行動障害や情緒不安定等により自傷・他害の恐れのある場合	④精神障害者における精神的不安等に伴う一時的な避難等
1	1	21	12
⑤福祉サービスの利用等	⑥障害や病状の理解	⑦健康・医療	⑧不安の解消・情緒安定
83	0	3	9
⑨保育・教育	⑩家族・人間関係	⑪家計・経済	⑫生活技術
0	4	7	0
⑬就労	⑭社会参加・余暇活動	⑮権利擁護・成年後見制度等	⑯その他
1	0	3	102
3. 1の拠点相談件数の内、緊急相談・緊急一時受入件数			(単位:件)
		(a)相談件数	(b)aのうち、緊急相談
		(c)bのうち、緊急一時受入	
(d)全体		247	65
			13

- 【4】職員研修等 令和元(2019)年4月～令和2(2020)年3月
- 8/22 発達障害地域支援専門員フォローアップ研修 1名 相談支援専門員
- 9/2-3 強度行動障害支援者養成研修 基礎研修 2名 生活支援員
- 9/23-24 強度行動障害支援者養成研修 実践研修 2名 生活支援員
- 12/11 施設長等研修会 1名 管理者
- 12/14 発達障害地域支援専門員フォローアップ研修 1名 相談支援専門員
- 1/12 法人内部研修 又村あおい氏 5名 看護師 生活支援員 他
- 1/29 障害支援区分認定審査会等研修会 1名 管理者
- 2/18-19 強度行動障害支援者養成研修 基礎研修(種子島) 1名 管理者

【5】令和元年度の全体所感

拠点の基本事業である共同生活援助の満床、生活介護の新規利用者獲得とベースとなる活動の確立を目指してきた。短期入所を含め、各事業がフル稼働するために必要な課題が多くみつかった。3年目を迎え、課題は多いが、行政機関及び地域の関係機関との連携を図りながら事業展開できた。

【6】職員数(令和元年5月28日現在)

33名(男12名・女21名)(正規11名・非正規22名)





## 令和元年度 ゆうかり保育園 事業報告 (案)

### I 【全体所感】

子どもの体調面に関して、集団生活である為、季節ごとの感染症は蔓延するのも早いように感じた。通院する怪我が数件あった為、職員配置や環境の改善に努める必要がある。季節ごとの行事は各クラス(特に3, 4, 5歳児)子どもたちの状態を見ながらクラスの子どものカラーや得意不得意を見極め、興味のあることへの取り組み、苦手なことへの挑戦がなされていた。

ゆうかり学園の利用者さんとのふれあいが減少しており、ゆうかり学園に行く機会が少ないため、ふれあいの機会を作っていきたい。

職員の研修に関して、昨年度同様研修が入ることによる勤務体制の確保が難しかったが、研修は均等に参加でき、研修で学んだことを報告することで他職員の学びに繋がった。

年末から新型コロナウイルスの感染が広がり始め、3月は保育園行事にも影響があった為、子どもがストレスをためないように、制限のある保育活動の中で柔軟な対応をし、子ども、職員とも健康に過ごせるよう今後の対応を慎重に、配慮しながら次年度の運営を考えていきたい。

### II 【在籍園児の状況】

園児の状況 (令和元年3月31日現在) ♣ 78名

0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		全体	
たんぽぽ		いちご		さくらんぼ		うめ		もも		さくら			
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
2	4	7	7	7	8	6	7	6	6	9	9	3	4
												7	1

園児の状況 (令和2年6月30日予定) ♣ 78名

0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		全体	
たんぽぽ		いちご		さくらんぼ		うめ		もも		さくら			
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
6	3	6	6	7	8	8	9	6	7	6	6	3	3
												9	9

障害児等 受入れ状況

	障害児	軽度障害児	療育支援児
令和元年度	4		3
令和2年度	4		4

### Ⅲ 【行事の実施状況】

・うめ→年少組 ・もも→年中組 ・さくら→年長組

月	日	行事内容	備考
4	1	入園式	新入園児及び保護者
4	13	保護者会	保護者及び職員
4	22	グリーンカーテン植樹祭	地域交流 さくら組
5	22	芋の苗植え	もも組
5	26	清掃活動	保護者
6	29	保護者サークル	保護者及び職員
7	12	ブルーベリー狩り	さくら組
7	13	お泊り保育	さくら組
8	3	西谷山夏祭り（地域の祭り）	もも組他
8	24	卒園児同窓会プログラム	H30年3月卒園児（新1年生）
9	21	親子レクリエーション	全園児及び保護者
10	1	そうめん流し	3歳以上児
10	19	親子遠足（平川動物公園）	全園児及び保護者
11	3	おはら祭り	さくら組保護者及び職員
11	12	芋ほり	もも組
11	15	ミカン狩り	うめ組
11	22	収穫祭	全園児
12	15	発表会	全園児及び保護者
1	7	七草	全園児
1	10	餅つき	全園児
2	3	豆まき	全園児
3	3	ひな祭り	全園児
3	6	お別れ遠足	全園児
3	14	卒園式	さくら組保護者及び職員

◆毎月 誕生会、スポーツ教室(外部講師)、読み聞かせ(外部講師)、英語

避難訓練、身体測定、食育・クッキング

◆鹿児島市立図書館移動図書館(年間20回)3歳以上児

◆保護者サークル(年1回)保護者・職員

◆内科検診 6月12日(水)、10月2日(水) ゆあさこどもクリニック

歯科検診 11月8日(金)

フォレストデンタルクリニック

### Ⅲ 【職員研修状況】

研修名	開催期日	開催場所	参加人数	キャリアアップ
南ブロック 保育士研修 栄養士研修	6月22日	国際大学 谷山福祉館	1 1	
保健衛生・安全対策研修	6月25日～26日	自治会館	1	○
九州保育三団体研究大会	7月11日～13日	市民文化ホール	1	
児童福祉施設給食関係者研修	7月12日	中央公民館	1	
子育て・発達支援コーディネーター養成講座	7月29日	なかまっち	1	
幼児教育研修	7月30日～31日	自治会館	2	○
保護者支援・子育て支援研修	8月7日～8日	奄美の里	2	○
南ブロック保育研修	8月24日	谷山市民会館	1	
給食従事者研修会	9月4日	市民福祉プラザ	1	
食育・アレルギー対応研修	8月21～22日	自治会館	1	○
保護者支援・子育て支援研修	8月4日～6日	ホテルモントレグラ スミア大阪	1	○
障害児保育研修会	9月18日～19日	自治会館	1	○
南ブロック給食研修	10月26日	谷山市民会館	1	○
保育実践研修会	11月5日～6日	サンロイヤルホテル	2	○
全体研修会	1月25日	建設センター	2	
アメニティーフォーラム	2月7日～9日	大津プリンスホテル	2	
南ブロック保育士研修 給食研修	2月22日	国際大学 谷山市民会館	1 1	
新入職員研修会	2月26日	市民文化ホール	1	

IV 【実習生、職場体験他受入状況】

実施日	学校名	人数	
5月14日～5月16日	谷山中学校	4人	☆
5月13日～5月22日	鹿児島看護専門学校	4名	★
6月10日～6月18日	鹿児島看護専門学校	4名	★
6月27日	鹿児島南高等学校	12名	◎
7月29日～8月9日	鹿児島城西高等学校 福祉共生専攻科	1名	★
7月23日～8月30日	小学生、中学生、高校生	37名	◎
8月1日～8月14日	長崎大学	1名	★
8月16日～28日	鹿児島女子短期大学	1名	★
8月19日～8月30日	鹿児島城西高等学校	1名	★
8月19日～8月30日	鹿児島純心女子短期大学	1名	★
8月20日～9月1日	鹿児島女子短期大学	1名	★
9月2日～9月12日	精華女子短期大学	1名	★
11月5日～8日	鹿児島実業高等学校	2名	☆
11月29日	鹿児島南高等学校	11名	◎
2月5日～2月18日	鹿児島純心女子大学	1名	★
2月26日 2月27日	鹿児島国際大学	10名 10名	■
通年	鹿児島大学	2名～15名	◎

★実習 ☆職場体験 ◎ボランティア ■実習前研修

## V 【監査結果】

令和元年11月1日（金）実施

鹿児島市指導監査	文書指摘	0件	口頭指摘	2件
鹿児島市保育幼稚園課指導監査	文書指摘	0件	口頭指摘	2件

### 【基本情報】

令和2年度 4月1日 現在

定員 70名

対象 0歳～5歳

通常保育 開園時間 7時～18時(休園日 日・祝・12月29日～1月3日・3月31日)

延長保育 18時～19時

障害児保育



## 令和元年度 そだち支援センタースケッチ 事業報告 (案)

### 【1】利用状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
開所日数	241 日	244 日	248 日
延べ利用者数	967 名	1473 名	2032 名

### 【2】利用者の状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
登録児童数	16 名	27 名	37 名

### 【3】活動内容

季節や学校行事に合わせた内容や、児童が楽しめそうな内容でまたスタッフも興味がある活動をそれぞれ1ヵ月単位で計画した。児童によっては不得手な内容もあったが、取り組みやすい手段や活動に参加しやすい役割などを提案し工夫した。平日は30分、長期休暇は1時間程度の活動であるが、活動時間内は可能な範囲で参加できるよう個人に合わせた内容や空間で支援した。

	活動	内容
4月	春休みプログラム たてものたんけん リクエスト活動	ダンボールロボット工作 たてもの内ルールの確認 スケッチホッケー
5月	土曜プログラム 体を動かして遊ぼう かんたんクッキング スケッチサイエンス	母の日用ハーバリウム スケッチドッチボール どら焼き 空気砲
6月	工作 体を動かして遊ぼう 水鉄砲であそぼう	父の日用キーホルダー お玉リレー 雨が降っても楽しもう
7月	ミニミニゲーム 駄菓子屋スケッチ 夕涼み会 (おたのしみ会) *家族参加 夏休みプログラム	神経衰弱スケッチ版 駄菓子を選ぼう 鶏飯作り・花火大会 タイル鍋敷き工作等

8月	夏休みプログラム	夜の水族館外出・工作「モバイル」等・ビーフンランチ
9月	ミニミニゲーム 十五夜クッキング 体を動かして遊ぼう 土曜プログラム	けんけん相撲 いもだんご ふうせんリフティング そらバス
10月	体を動かして遊ぼう ハロウィーンクッキング ミステリーツアー 土曜プログラム	障害物リレー ミステリーケーキ 暗闇の中のツアー ボーリング
11月	祝日プログラム プラコップ工作 ミニミニゲーム おいしい秋を見つけよう	おはら祭り コップがコースターに 音当てクイズ 果物カット体験
12月	クリスマス製作 体を動かして遊ぼう おたのしみ会 冬休みプログラム	手作りクリスマスツリー モップがけリレー たこ焼きパーティ 杵と臼で餅つき大会
1月	冬休みプログラム おたのしみ会 *保護者茶話会 体を動かして遊ぼう 鬼バスターズ	お正月遊び 焼きもち・ぜんざい作り  縄跳び 鬼を描いて退治しよう
2月	ミニミニゲーム バレンタインクッキング スケッチサイエンス	ペットボトルボーリング チョコフォンデュ 静電気実験
3月	ひな祭りクッキング たわわでランチバイキング おたのしみ会 春休みプログラム	ひしもち バイキングランチ 宝さがしゲーム 温泉外出・グリーンファーム外出



#### 【4】研修状況

月日	外部（主催）・内部	内容	参加人数
6/13（木）	外部（かごしま南ネット）	県こども総合療育センターの概要と手続きについて	1名
8/4（土）	外部（JDDネットかごしま）	発達支援のむこうとこちら	3名
9/2・3（月・火）	外部（鹿児島市知的障害施設連絡協議会）	強度行動障害支援者養成 基礎研修	1名
1/9（木）	外部（鹿児島県社会福祉士会）	障害者虐待防止・権利擁護研修	1名

#### 【5】実地指導結果

令和2年1月16日（木）実施 文書指摘 2件 口頭指摘 2件

#### 【6】総括

新規児童が新1年生に限らず、学年が上がり学級や児童クラブでの困り感が出てきた2年生以上の児童も増えてきつつある。祝日のある月は土曜開所も行い、第2土曜日の下校後や休業日の余暇活動としてのプログラムを実施した。保護者からの事業所に対する評価や要望をもとに反映できることは行い、けがや苦情に対しては迅速に誠意をもって対応するように心がけた。新規契約は口コミによるものが大多数であったが、他の児童で連携を密にとることが増えた相談支援事業所からの勧めで見学、契約と繋がった利用者もいた。今後も、選んで下さった利用者や情報を共有している学校、相談支援事業所などに対し、児童の人生の見通しをつけながら家族を支えていける事業所として地域に根ざしていきたい。

